

山田議長不信任
可決される

町民の願いに応える公平な議会へ

9月議会が7日開会され、町長あいさつ・提案説明の直後、山田議長不信任決議案が提出され、賛成5(藤堂一彦、藤堂与三郎、建部、木村、西澤の各議員)で可決しました。これは西澤議員が建部議員、藤堂一彦議員を賛成者として提出したもの。金澤副議長が議長席に着いて、山田議長は提出理由に反論・弁明した後、除斥。濱野議員が反対討論、藤堂与三郎議員が賛成討論。決議には法的拘束力はなく山田議長は続投。

8日は一般質問で5議員が発言席に。

10日は談合疑惑がらみ恐喝未遂事件の天津地裁公判で野瀬元主監が検察側証人として出廷。談合疑惑について重要な証言が飛び出しました。

10日 恐喝未遂事件公判 野瀬証人

「発言を表に出したくなかった」

事件があった昨年の7月時点で告訴しなかった理由について、野瀬氏は、山口の要求がやんだ以上、私の発言(町長と野瀬氏と議長と副議長が最低制限価格を知っていたとする録音)も公に出したくなかった・・・などと証言。疑惑が公然となることを恐れていた様子をうかがわせました。



甲良民報

2010年9月12日 455号
発行責任：日本共産党甲良町支部
代表：西澤伸明 甲良町在士 463
Tel.Fax38-4949

賛成5人で可決された甲良町議会
議長不信任決議は次の通りです。

議会議長不信任決議

「本議会は甲良町議会議長山田壽一君を、議会を代表する議長として信任しない。」とする

以上決議する。

平成22年9月7日

甲良町議会

【提案理由要旨】

- 1、「1年交代の申し合わせ」(西澤は与していないが)を破って居座りつづけていること。
- 2、その居座る理由として「議長選で議会が分裂することを防ぎたい」「村田局長を守りたい」などをあげていた。しかし、自ら議員互助会を脱会し、分裂に導いた。また「守りたい」とした村田前事務局長は官製談合疑惑調査の過程で自ら命を絶った。
- 3、中立・公正であるべき議会運営の要としての役割を放棄して不公平・不公正な対応に終始していることはそしりを免れない。

その具体的事例

官製談合疑惑発生時初動の対応

現職町長、副議長等がかかわる重大な疑惑にも拘わらず、議会に報告すらしなかった。

「恐喝未遂事件」への対応

恐喝未遂事件という犯罪としての現在のような認識であれば、当時、なぜ、議会に報告しなかったのか。

当初から「犯罪」「不当要求」との認識が無かったのか、

それとも報告すれば都合の悪いことがあったのか。

どちらにしても重大問題を隠そうとしていたことは現在では明々白々の事実となっ

てしまいました。

100条委員会への対応

議会での説明はこれからの努力にかかっている

時期に「議会の調査究明は

至難なことと言っても過言ではない」などという「官製談合疑惑」の
解明に否定的で妨害的な文書を配布。議長として解明をすすめ、行政を正すという立場と真っ向から矛盾して、解明したくないという表明かと考えられる。

議会広報発行への対応

100条委員会の結論を無視して「経過」を公表

100条委員から除斥を受けている濱野議員に原稿を書かせることを容認している

一般質問受付の対応

締切時間後に濱野議員の追加質問を受け付けた。

上記いずれにも反省がありません。

裏面に西澤議員の意見

濱野議員質問

一言の反省・釈明もナシ

濱野議員の一般質問は8日に行われ、扶養手当の不正受給を追及する一方、自らが1級建築士を務める(株)浜野工務店が建設業法違反を犯し、行政処分を受けた件に関しては、濱野議員からは、反省の弁どころか、釈明も一切ふれることはありませんでした。

お元気ですか

のぶあきです

鈴木宗雄衆議員の
有罪がついに確定し、収監されることになりました。

しんぶん赤旗の報道によると、日本共産党の市田書記局長は記者会見し、「国会議員として最も恥ずべき行為であり、司法の判断は当然だ」と述べた

うえで、犯罪の根底にある企業・団体献金の禁止に踏み切るべきと提起。

民
主党の責任についても言及。全会一致で偽証告発を決め、議員辞職勧告決議

も行っているのに、鈴木宗雄議員を外務委員長に指名したこと、永年在職議員の表彰を受けることを推進したことは責任を問われ、と指摘したとありました。

「ム
ネオハウス」で有名になった疑惑浮上から実に8年が経過。犯罪が確定するまで時間がかり、

並みの粘りではアカンなあと感じた次第です。

メール siga-koura463@jcp-nobuaki.com

ホームページ：グーグル「西澤伸明」で検索

「恐喝未遂」初めから知っていたのに議会で報告せず

議長不信任決議提出に当たって述べた西澤議員の意見をお知らせします。(見出しは編集)

次に私の意見です。

1、議長は何よりも公平でなければなりません。そして議員の発言権を保障し尊重しなければなりません。ところが、この間の山田議長の言動はこの原則に真っ向から背いています。その最大の問題は、談合疑惑問題を解明しよう、正そうという立場に立っていないことです。主に次の2点に絞って提起します。

町政の重大問題

濱野副議長(当時)とともに 議会に知らせず

談合疑惑がらみの恐喝未遂事件公判で明らかになりつつある事実は重大な問題をはらんでいます。それは、昨年の談合疑惑が起きた当初から、そして、その疑惑をネタにした恐喝未遂事件が発生した当初から、恐喝を受ける側に位置した一人、それが山田議長だったことが明らかになったということではないでしょうか。この事件では恐喝未遂の被害者として描かれています。

また、議会の中では濱野議員とともに恐喝未遂のネタになったICレコーダーの存在をいち早く知り得た人物、それ

が山田議長だったのです。

ところが、ICレコーダーをネタに恐喝・不当要求を受けている報告は一切ありませんでした。正式手続きも半年以上過ぎてからのものでした。行政権力の下で起きた疑獄は、公開の場で究明することこそ、利権の根を断つことであり、再発防止の最大の保証となるものです。議会は行政幹部のまがいやを率先して正さねばなりません。その究明の先頭に立つべき議長が、逆に談合疑惑が表に出ないようきゅうきゅうと工作してきたことが皮肉にも自分たちが告訴したことによって明るみになったのです。

疑惑もたれたこと自体 恥ずべきこと

山田議長が官製談合の当事者のひとりであるか否かは、解明を待たねばなりません。しかし、公人として、議会を代表するトップとして疑惑(この疑惑は法廷でも根拠を基に提起されているもの)を抱かれたこと自体が恥ずべきことではないのでしょうか。

一貫して疑惑解明妨害

濱野圭市議員が関係する浜野工務店が、本来なら入ることができない「建築Aランク」に急きょ入れられたこと、落札額と最低制限価格がピッタリ一致

という2点の不自然さは、議長として、少なくとも、いち早く疑問視して調査を正式に提起をしなければならなかった問題です。その当たり前の調査を妨げてきたために、今日まで長引いていると言っても過言ではありません。

9月議会での私の一般質問に対し、中止させようと干渉しました。提案理由に挙げた数々の不公平・不公正でも何らの反省が未だにありません。

2、グランドゴルフ公費負担問題でも信任できない理由を述べます。

グランドゴルフは 議員の仕事??

豊郷町で問題となり、豊郷町ではグランドゴルフ大会の費用も議員個人が負担しており、どこから見てもグランドゴルフが議員の仕事とは言えなくなり、個人負担にする流れができてきた中で、あくまで山田議長は議員の情報交換の場であり、公費負担は当然というキャンペーンを率先して行っています。そして犬上郡議長のグランドゴルフ会計に不適切処理があったとして当時の職員が処分を受けました。しかし、問題が発覚した当時の会計監査は山田議長に他なりません。不適切処理を見て見ぬふりをしたと考えられ、改善の

問題提起も一切してこなかった山田議長の責任は、一職員になすりつけて済ませる問題ではありません。会計監査としての仕事をしてこなかった怠慢こそ追及されねばならないことを強調したいと思います。

3、1年交代の申し合わせについて私の意見

自らの約束破りは 信頼できない

一年交代の申し合わせは再任を妨げないこととセットで議長も参加された席で確認されたことです。法律上のルールではありませんが、その確認を山田議長自ら破ることは、この申し合わせにくみしていない私から見ても全く容認できません。

議長は議会運営の公正・公平な運営の要です。同時に町民を代表する議会の顔でもあります。このような重要な役割を担う議長が、いま申し上げたかかる事実に関与し、指摘されること自体、議長の職務とは両立しません。

以上、私・西澤としての意見を述べて提案説明とします。



山田議長が不信任されても居直りを表明したため、5人の議員は抗議の意を込め、暫時休憩を要求。その後、会議が再開されたため出席しました。